

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 しばんはうすさくら豊橋多米西教室

公表日 2025年 7月 20日

利用児童数 27名

回収数 27/27

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27				・安全で十分なスペースがあります。 ・おもちゃをたくさん並べたり、サーキット運動ができています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		2	・先生がたくさん出勤している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27				・タイムスケジュールが張り出されていたり、時計を活用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26			1	・きれいで片付いている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2			・一人ひとりと向き合っていると感じる。 ・何かをする時言葉でわかるよう説明してくれている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27				・できることが増えている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27				・支援計画はわかりやすい。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2		1	・「移行支援」がよくわからない。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1			・言葉掛けが工夫されている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1			・工作をしたり、色々なところに遊びに行けている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	2	1	8	・交流はないがこども園に通っている。	・ご利用者様全員が地域の園に通っており交流できています。今後必要があれば事業所単位でも検討して参ります。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1			・紙面を見ながら説明ありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	4	10		・今後ご家族様に質の良い研修、情報提供ができるよう準備を進めていく所存です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	3			・丁寧に対応してくれている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	4		4	・面談をしてくれています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1			・子どもの気持ち、親の気持ちに寄り添ってくれてありがとうございます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	7	13	・保護者同士の交流の場はないが、それほど必要性も感じない。	・今後ご要望等あれば前向きに検討して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		2	・相談にのっていただいたことがあり、助かりました。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1			・送迎の際にしっかり様子を伝えてくれる。 ・LINEやノートで伝達されている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		3	・通所した日は写真を送っていただけのため、写真をもとに子どもと会話できる。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27				・しっかり守られています。 ・他の子の名前もわからない。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4	1	5	・かかりつけ医は聞いている。	・マニュアル、訓練共に行っておりますが今後回数を増やしたり周知できるよう善処いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24			3	・非常時があると安心な物を確認した。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2		2	・けがをしたことはないが友達に噛まれたことの説明があった。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26			1	・「明日ごばん？」と聞き楽しみにしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1		1	・楽しんでいて「行きたい!」と言います。 ・外で先生のお迎えを待っています。 ・送迎の車に喜んで乗っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1		1	・安心と信頼があります。 ・言葉もたくさん言えるようになり、行動は落ち着いてきました。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こばんはうすさくら豊橋多米西教室		2025年 7月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	・多くの目で配置以上の人数で手厚く支援にあたっている。	・状況によっては人数が必要な時もありますが必要に応じて児発と放デイで調整を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1		・パーテーションを増やしてより分かりやすい環境設定ができると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・午睡、クールダウン、着替え、個別セラピー等必要に応じて柔軟に対応できるよう努めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	5	・就業前に終礼の時間を取り振り返りを行っています。参加できない職員には日報で周知できるようにしている。	・対面で話し合える機会がもっと取れると良い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	5	・職員間で意見交換の場を設け業務改善に努めている。	・お子様への業務は改善しているが、事務作業や労働状態の改善がされていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	・外部研修に積極的に参加し、支援の向上に努めている。 ・入社後事業所独自の研修を受けることができた。	・内部研修を症例検討など充実していけるとよりよい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・全員揃ってのカンファレンスが難しい為、付箋を利用し、職員の声を反映できるよう工夫している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1		・共有はしているつもりだが、支援については職員によって差がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11			・標準化されたインフォーマルなアセスメントについては深掘りが必要と感じる。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	1	・アセスメントを行い子どもに対して包括的な支援が行えるよう多面的な視点から支援を行えるよう努めている。	・保護者様への聞き取り、職員同士の意見交換を元に作成するのでおおよそ適切であると思うが専門職員があと数人いれば更に目的を持ったものになるのでは？
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	・日々担当の職員が個々で設定し分らないところは事前に聞いて共有している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		・活動に偏りが出ないようバランスよくプログラムが配置されるよう工夫している。又、担当職員が各々活動内容を考えることで固定化しないよう努めている。	・日々のプログラムは工夫されているが、おでかけ先に関しては新規開拓が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	2	・朝礼にて一日の流れや共有事項を確認し、職員間で共通認識を持って支援が行えるよう努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	・終礼にて一日の振り返りを行い職員間で意見交換や支援方針を話し合い、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	4	・利用日ごとに支援記録を取り子どもの変化や成長をご家庭と共有し、連携を図りながら支援の質の向上に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		・送迎時に情報共有したり必要であれば見学の申し入れ、会議の開催、参加を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・必要に応じて学校と情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8	2		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11		・直接的な交流はないが利用者様全員それぞれが地域の園に通っている。また、お出掛けした際には他の事業所、地域のお子様との交流する機会もある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	・支援経過記録、活動時の写真送付、送迎時のフィードバックでご様子をお伝えできるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	2		・モニター見学後の相談支援を行っている。今後ペアトレや研修を行っていきけるよう準備を進めていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・電話や面談等で受けたご相談には教室でのご様子をお伝えしながら一緒に支援を考えられるよう努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	10		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	4		・回数が限られており、全ご利用者様、職員が参加できていない。今後訓練の回数をふやし、災害に備えていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	5	・事業所内だけでなく地域の消防署を招いて研修を行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		・契約時、半年に一度の計画更新時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	2	・前例はないが今後必要に応じて対応していく。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	4		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2	・契約時、緊急の際の連絡方法については擦り合わせを行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		・日々の振り返りの中でお子様に対して適切な対応ができていたかを話し合っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	3	・切迫性、非代替性、一時性の全てを満たした場合のみと職員間で周知している。	・契約時に身体拘束についてのお話はしていますが計画への記載はない為今後検討していく。